

北九州 木の家の会

伝統的構法の住宅



事務局 大江建築設計一級建築士事務所
〒808-0142 北九州市若松区青葉台南1丁目2-12
TEL/FAX 093-742-5430

メール :ooekiyo@yahoo.co.jp
Web サイト: kitaq-wood.com/

目次

伝統的構法への取組	2
伝統的構法住宅の紹介 1	3
「北九州 木の家の会」の基本仕様	
伝統的構法住宅の紹介 2	4
1) 間取りと意匠性	
2) 耐震診断と耐震補強	
3) その他	

伝統的構法への取組

主旨

公共建築物の木質化や中大規模木造建築物の建設促進が叫ばれて久しく、法整備も進められてきましたが、これらの建物は集成材や接合金物の使用が前提になっています。

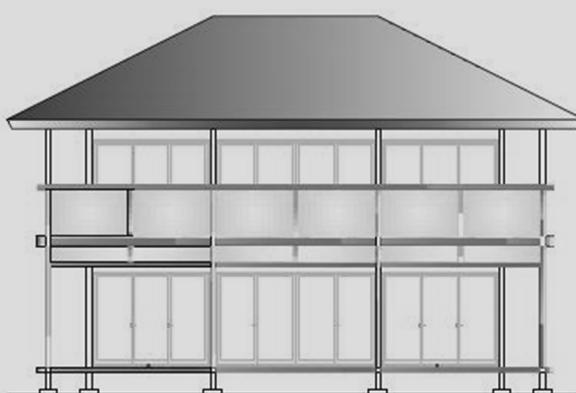
小規模の木造住宅でさえ集成材やプレカット材が主流になっています。

一方で、神社、寺、町家あるいは古民家などの伝統的建築物に対する規準や法整備は遅れ、伝統構法に欠くことのできない大工技能の伝承も困難になりつつあります。これに伴い、地元や国産の製材は置き去りになっています。

これまで「北九州 木の家の会」では地元の森林を守ることを目的として以下の活動を行ってきました。

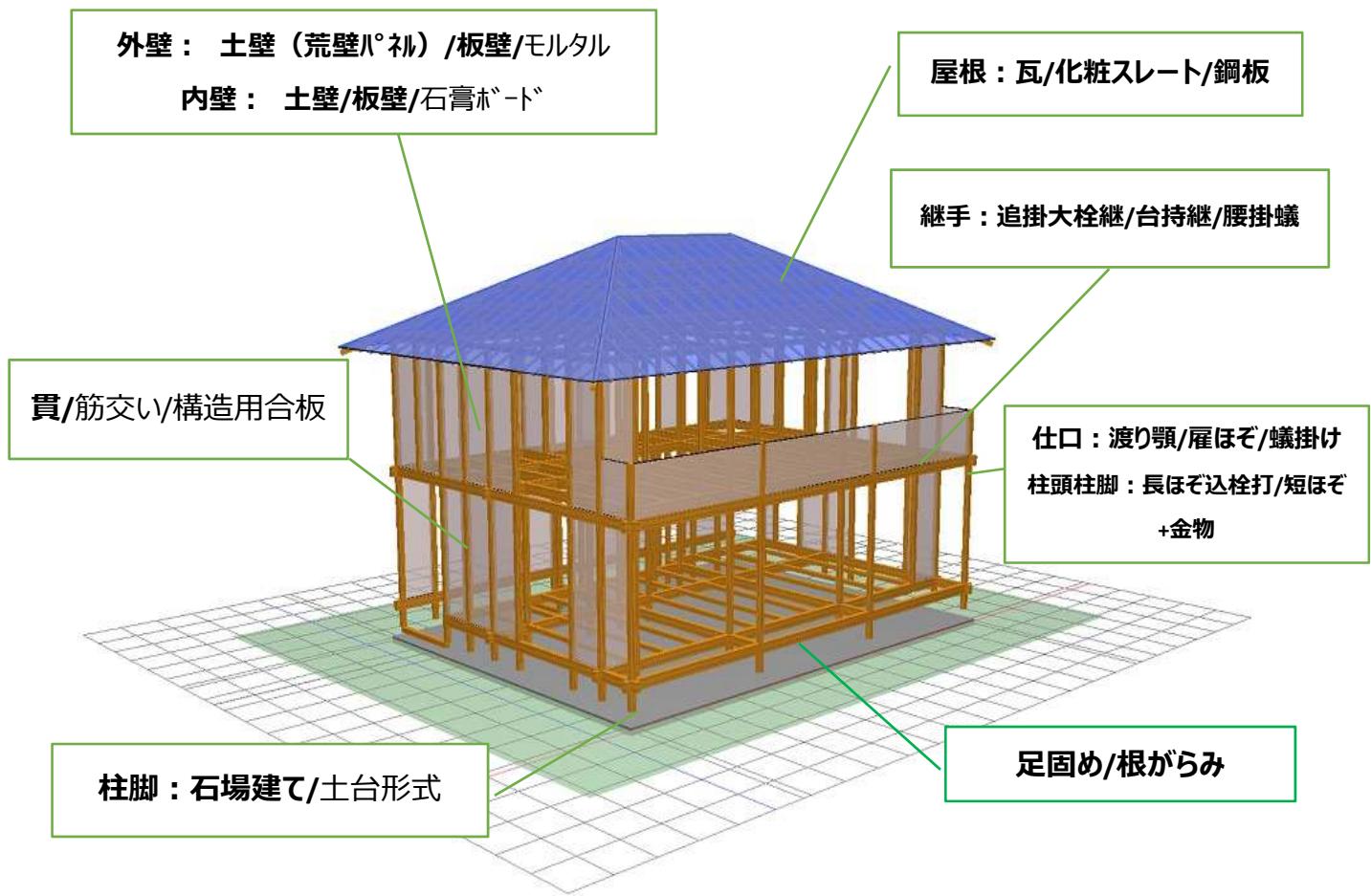
- ・地元産、国産の木と製材を使った住宅の設計、施工
- ・木組みによる在来軸組工法の採用

今回、規準となる「伝統的構法のための木造耐震設計法」が出版されたことを機に、当会のこれまでの活動の延長として、伝統構法の住宅に取り組むことにしました。



伝統的構法住宅の紹介 1

「北九州 木の家の会」の基本仕様



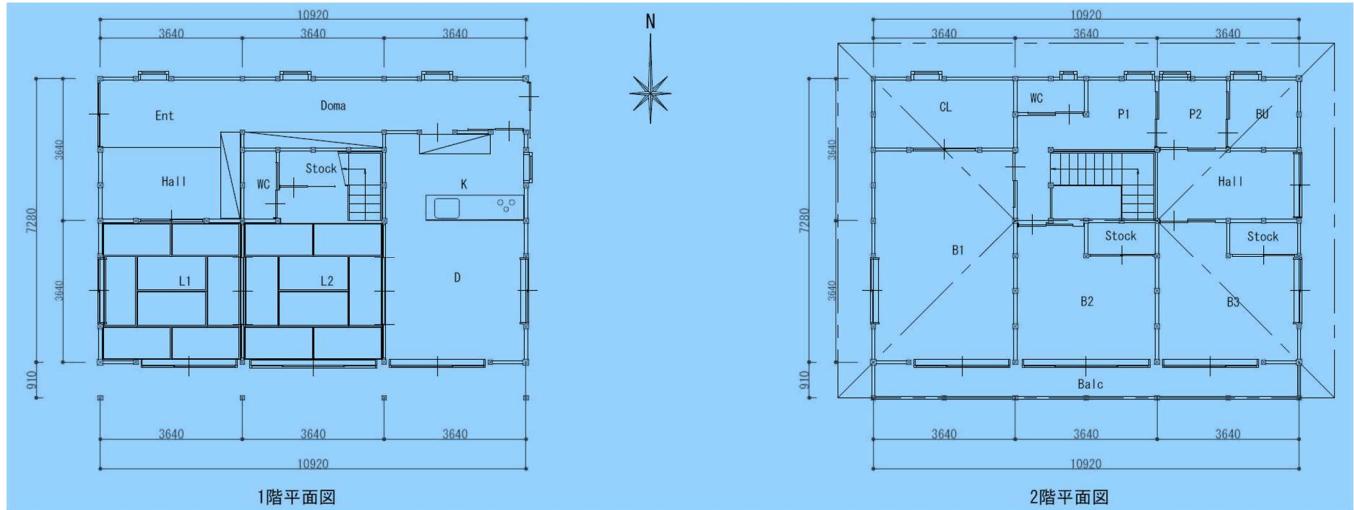
限界耐力計算により以下の規準で設計を行います。

稀に発生する地震 (震度 5 強程度) 層間変形角 $1/120$ 以下

極稀地震 (震度 6 強～7) 層間変形角 $1/20$ 以下

大変形に耐える設計のため筋交いや構造用合板などの硬い耐力壁の使用は極力、避けます。

伝統的構法住宅の紹介 2



1) 間取りと意匠性

- 壁が少ないため南面が**開放的な間取り**が可能になります。
- 引き戸建具の使用で部屋の**間仕切りが自由**になります。
- 柱を現しにした**真壁と構造材を見せる意匠**が可能です。

2) 耐震診断と耐震補強

- 既存の建物について**構造詳細調査**により図面化を行います。
- 構造調査に基づいて**耐久性調査（劣化調査）**を行います。
- 限界耐力計算により**耐震性能評価**を行い、必要であれば**耐震補強設計**を行います。

3) その他

- 「木組みの家」は主に自然素材が使われ、集成材や金物が減るので健康で長持ちする家になります。
- 一般的な在来軸組構法の設計施工も可能ですが、伝統的構法とは異なりますので耐震性能や間取り、および意匠性も異なります。
- 限界耐力計算を行って確認申請を行う場合は「適合性判定」審査が必要になり設計費用と期間が在来構法の住宅より増えます。